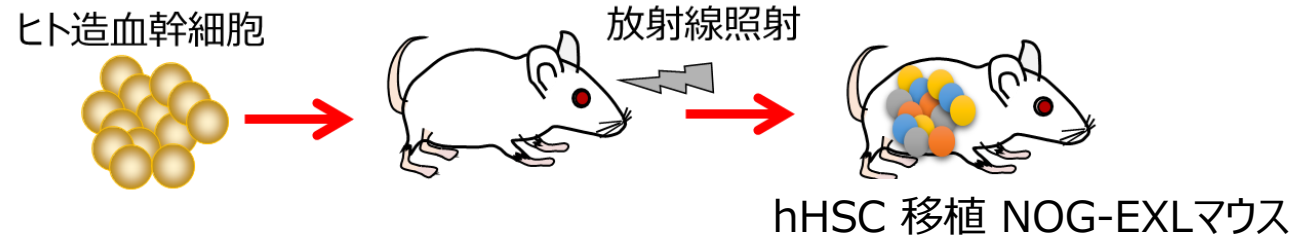


ヒト造血幹細胞 (HSC) 移植ヒト化 NOG-EXL マウス作製方法



- 6週齢の NOG-EXL マウスを購入し、納入後約 1 週間順化飼育します。
- マウスに X 線を照射し、マウス由来の骨髄細胞の一部を殺傷します。(お客様の施設で作製する場合、ブスルファンによる前処理でも実験可能です。)
- X 線照射後24時間以内にヒト臍帯血由来造血幹細胞 (CD34⁺ HSC) 4~5×10⁴ 個を尾静脈から移入します。
- HSC 移入 11 週後には、ヒト細胞が末梢血中に分化しています。
- この時点で、フローサイトメトリーにより、ヒト白血球の生着率を測定します。
- インビボサイエンスが作製するヒト化マウスの場合、通常ヒト細胞キメラ率 25 %以上のマウスを納品いたします。
- 事前にキメラ率のデータ (hCD45⁺細胞数/(hCD45⁺細胞数+mCD45⁺細胞数)) を提示いたします。
- オプションとして HSC 移入一週間で納品することも可能です。この場合のキメラ率の保証は致しかねます。
- NOG-EXLマウスは、HSC移植すると貧血を発症することがありますので、育成中は注意深く観察するようお願いします。貧血は、分化したヒトマクロファージが、マウス赤血球を貪食することで発症すると推測されています。
- ヒト造血幹細胞移植ヒト化マウスはヒト由来材料を含みます。細胞情報シートを事前に入手し、ご確認のうえ各機関のルールに従ってご使用ください。
(インビボサイエンスで作製したヒト化マウスの場合、細胞シートは弊社より提供させていただきます。)

➤ NOG-EXL マウス、HSC 移植済みヒト化 NOG-EXL マウスのご注文、ご質問など
弊社ホームページのお問い合わせフォーム、電子メールまたはお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。
お問い合わせフォーム：<https://www.invivoscience.com/contact/> E-mail：sales@invivoscience.com
Tel：044-201-8518